

学校施設の防犯対策 点検・改善マニュアル



- 学校施設の防犯対策に係る点検・改善マニュアル
作成の取組に関する調査報告書の概要

文部科学省大臣官房文教施設企画部
国立教育政策研究所文教施設研究センター



背景・目的

日本語



- 近年の学校を発生場所とする**犯罪の増加**
- 児童生徒等の**安全確保**及び学校の**安全管理**の一層の徹底
- ハード、ソフト両面から、より**実効性**のある**安全管理の取組**を積極的かつ**継続的**に推進

- 文部科学省では、平成14年から安全で安心できる学校の確立を目指し、「子ども安心プロジェクト」を推進しており、不審者侵入時等の留意事項をまとめた「学校への不審者侵入時の危機管理マニュアル」（平成14年12月）等を作成し、周知しています。
- 学校施設における防犯対策の推進方策としては、「学校施設の防犯対策について」（平成14年11月）において、防犯対策のチェックリストやマニュアルに基づいた定期的な点検や訓練の実施など、実効性のある検証システムの確立が求められています。
- 本調査研究では、これまでの調査研究などを踏まえ、学校施設における防犯対策を一層促進するために、防犯対策に関する点検・改善の現状や課題を整理・分析し、学校施設の防犯対策に関する点検・改善マニュアル作成に当たっての視点や留意事項を示しました。

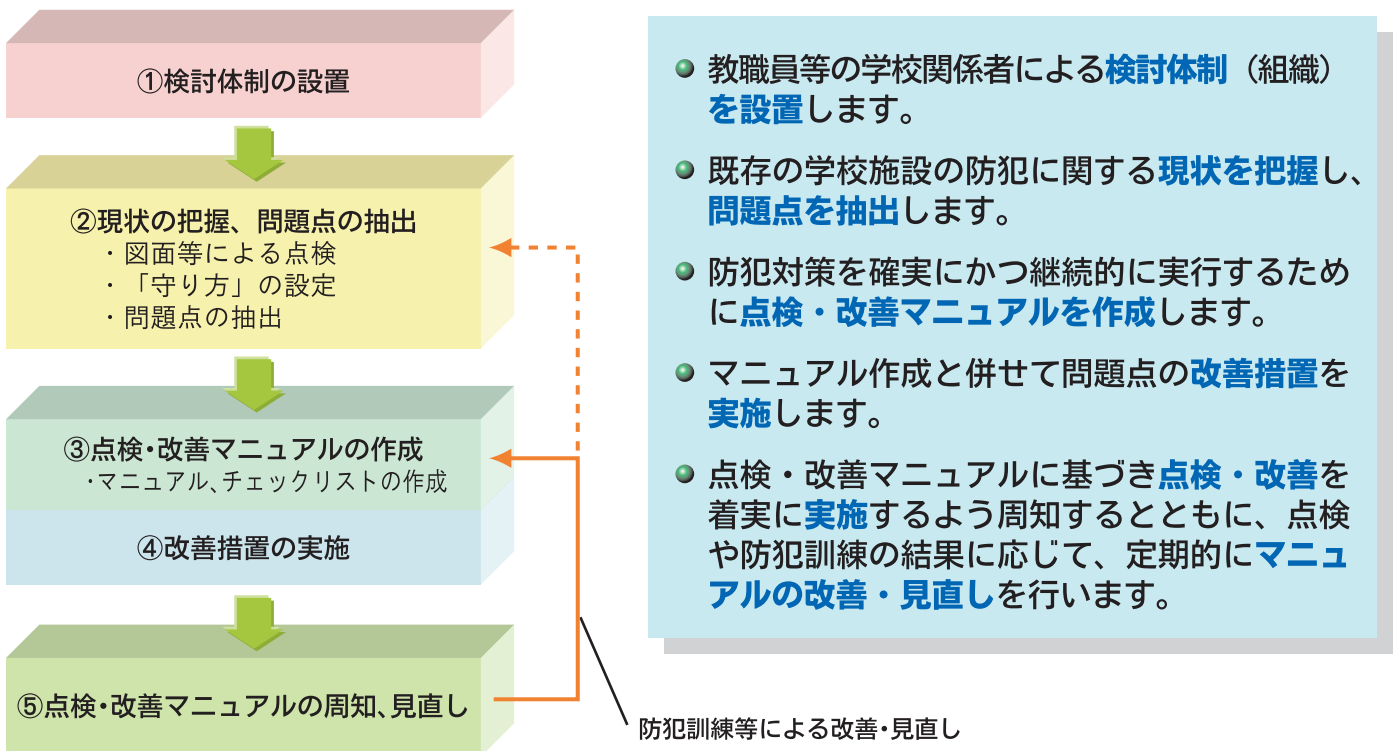
調査の内容



- 文部科学省支援事業として、市町村教育委員会等と学校が連携して作成した**点検・改善マニュアル**（3事例）を分析
- 全国の教育委員会、学校において、既に作成している防犯対策マニュアルを収集・分析
- これら取組事例について整理・分析を行い、学校施設の防犯対策に係る**点検・改善マニュアル作成の手順と留意事項**をとりまとめ

- 平成17年10月 文部科学省より「学校施設の防犯対策に関する点検・改善マニュアル作成支援事業」及び「学校施設の防犯対策に関する点検・改善マニュアルの事例調査」を各都道府県教育委員会等に依頼
- 平成17年11月 国立教育政策研究所に、建築計画・防犯の専門家、校長、教育委員会関係者による「学校施設の防犯対策に係る点検・改善マニュアル作成の取組に関する調査研究会（主査：長澤悟 東洋大学工学部教授）」を設置
- 平成18年6月 調査研究報告書を取りまとめ
（報告書全文を文部科学省ホームページに掲載：アドレスは最終ページ参照）
- 平成18年7月 文部科学省から国公立の学校施設担当課へ報告書を送付

フローチャート



① 検討体制の設置



● 関係者による検討体制づくり

- 防犯対策の点検・改善には、学校設置者、教職員、保護者、地域住民、関係機関等の連携協力に加え、個々の学校の状況や地域の特性に応じたメンバーによる委員会、ワーキンググループ、ワークショップ等の検討体制の構築が重要です。

● 建築計画や防犯に関する専門家の参画

- 建築計画や防犯に関する専門家の参画は、バランスの取れた防犯対策を実施する上で有効です。

② 現状の把握、問題点の抽出



● 図面等を活用した現状の把握

- 図面等を活用して、防犯に関する学校敷地内や周辺環境の現状について把握することが大切です。
- 既存施設・設備の現状把握には、学校配置図や周辺地図に気づいた点をチェックする「学校施設安全マップ」づくりが有効です。
- 「学校施設安全マップ」づくりは、学校関係者、保護者等が参画することが、多面的な点検や情報の共有化に有効です。

● 個々の学校の守り方に基づく問題点の抽出

- 学校の運営方針や周辺環境を考慮しつつ、防犯に関する基本方針を定め、防犯対策に必要な領域性の確保、視認性の確保、緊急時の対応等の守り方を設定し、現状に対する問題点を抽出します。

③点検・改善マニュアルの作成



● 個々の学校に対応した点検・改善マニュアルの作成

- 実効性のある点検・改善を継続的に実施するために、現状の把握、問題点の抽出結果に基づき、個々の学校の守り方と課題を明確にした、点検・改善のポイントをマニュアルとして整理し、運用することが有効です。
- 既にマニュアルが作成されている場合は、関連する項目の追加や見直しによる対応が有効です。
- 防犯対策を含めた総合的な危機管理マニュアルを作成している場合は、自然災害や日常生活の事故への対応と併せた点検・改善を行い、総合的に運用することが有効です。

● 実効性、継続性のある点検を実施するためのチェックリストの作成

- 実効性、継続性のある点検を実施する上で、点検項目を日常点検、定期点検、臨時点検に区分し、点検時期や役割分担等を設定したチェックリストを作成することが重要です。(最終ページ参照)

④改善措置の実施



● 防犯対策に係る問題点の改善方策の策定、実施

- 点検により抽出された問題点は、ソフト面を含めた改善方策を検討し、早急に実施することが重要です。
- 直ちに改善できないものについては、改善計画を策定するとともに、改善するまでの間、ソフト面も含めた応急的な代替措置を講じることが重要です。
- 施設・設備に関する改善方策については、学校レベルで実施可能な比較的軽微な改善と、新たな予算措置を要する比較的規模の大きな改善が考えられます。実施に当たっては、学校及び設置者各々の役割に応じ、具体的な改善計画を策定することが重要です。
- 防犯対策を着実に進める上で、耐震改修等の様々な施設整備の機会を捉えて対応することが重要です。

⑤点検・改善マニュアルの周知、見直し



● 点検・改善マニュアルの周知、情報の共有化

点検・改善マニュアルに基づく取組は、防犯訓練や年度の節目等の機会を利用して、学校関係者等に周知し、情報を共有化することが重要です。

- 防犯訓練等を活用した学校関係者への周知
- 教職員の異動、PTA役員の交代時の確実な周知、引き継ぎ
- 保護者、警察、地域住民等へのマニュアルの内容の周知
- 教育委員会、近隣の学校との防犯対策に関する情報交換

● 点検・改善マニュアルの見直し

点検・改善マニュアルは、施設の状況の変化や防犯訓練の結果に応じ、内容の見直しを行うことが重要です。

- 施設形態の変化(増築・解体等)に伴う防犯対策・点検項目の見直し
- 季節変化(樹木の枝葉形態等)に伴う防犯対策・点検項目の見直し
- 防犯訓練実施によりわかった改善すべき項目の見直し

取組概要

CASE①

武蔵野市立境南小学校（東京都武蔵野市教育委員会）

<学校概要>

- 校区は駅前の商業地区と、これを取り巻く住宅地からなっています。
- 校舎は昭和40年代後半から増築を重ねましたが、近年では少子化の影響でクラス数が減少しています。
- 市内では比較的学級規模の大きい学校です。

<取組内容>

- 教職員やPTA等、複数の目で「学校施設安全マップ」を作成しています。
- 市作成のチェックリストを基に学校独自の「点検・改善チェックリスト」を作成しています。
- 点検・評価項目については、市のチェックリストにフィードバックし、市内の学校で活かすこととしています。



▲学校施設安全マップ



▲敷地全景

CASE②

滑川市立西部小学校（富山県滑川市教育委員会）

<学校概要>

- 校区は、富山市のベッドタウンとして近年住宅化が進み、人口が急増しています。
- 校舎は平成16～20年度にかけて増築及び大規模改修工事が実施されています。

<取組内容>

- 周辺の地域性を考慮するとともに、大規模改修工事の完成までの工事期間を踏まえた防犯対策と安全対策を実施しています。
- 児童、来校者、車の動線や職員室からの視線の確認と図による整理を行なっています。



▲人と車の動線配置図



▲増築校舎

CASE③

国立大学法人群馬大学教育学部附属小学校

<学校概要>

- 前橋市のほぼ中心の住宅地に位置する国立大学附属小学校であり、児童は半径5kmの広い範囲から通学しています。
- 敷地内には大学附属の養護学校も併設されています。

<取組内容>

- 防犯施設の点検・改善を継続的に行なうための「防犯マネジメントシステム」を作成しています。
- 日常点検防犯チェックシートを作成し、点検を実施しています。
- 総合的な防犯対策を確認するため、図面による定期点検を行い、優先度を定めた段階別改善計画を策定しています。



▲防犯マネジメントシステム概念図



▲南校舎

チェックリスト

学校の防犯に関する日常点検チェックリスト <参考>

日常点検用

※担当者は参考として例示したものです。

チェック項目	チェック内容	担当者	評価	改善計画等	改善状況
不審者侵入防止の観点から					
○来校者等の校内への出入り確認 ■ 来校者の校内出入りの対応はスムーズだったか 〔 ・校舎敷地入り口(正門等)での入校確認 ・校舎入り口での確認 ・受付、記名、入校証 ・見送り確認ほか 〕	<input type="checkbox"/> 来校者(保護者含む) <input type="checkbox"/> サービス業者 <input type="checkbox"/> 地域開放施設利用者 <input type="checkbox"/> 児童生徒登下校時 <input type="checkbox"/>	事務職員、用務職員 " " 担当教員			
○学内施設の点検 ■ 校門、囲障(フェンス、植栽等)等の破損はないか ■ 校内施設の施錠の確認をする ■ 児童生徒の活動場所等の巡回・監視 〔 ・巡回による監視 ・防犯カメラによる監視 〕 ■ 建具、ガラス等の破損、ゴミの散乱等はないか	<input type="checkbox"/> 校門 <input type="checkbox"/> 囲障(フェンス、植栽) <input type="checkbox"/> 外灯(球切れ等) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 正門、通用門 <input type="checkbox"/> 校舎A昇降口 <input type="checkbox"/> " B昇降口 <input type="checkbox"/> " C昇降口 <input type="checkbox"/> 体育館(地域開放) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 児童生徒昇降口 <input type="checkbox"/> 低学年児童教室 <input type="checkbox"/> 屋外運動場 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 建具、ガラスの破損 <input type="checkbox"/> ゴミの散乱 <input type="checkbox"/>	教頭 " " 教頭、担当教員 " " " " " 教頭、担当教員 " " " 教頭、担当教員 "			

このほか、報告書では定期点検チェックリストも参考として例示しています。

参考資料

- 「学校施設の防犯対策について」(平成14年11月 文部科学省)
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shisetu/005/toushin/021101.htm
各学校において考慮すべき防犯対策に係る基本的な考え方や設置者が防犯対策を計画・設計する際の留意点、今後の推進方策等、学校施設の防犯対策の在り方を総合的に提言
- 「学校への不審者侵入時の危機管理マニュアル」(平成14年12月 文部科学省)
http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/17/12/05120900/all.zip
不審者侵入などの緊急時の対応について分かりやすく解説
- 「学校施設の防犯対策に関する調査研究報告書」(平成16年9月 日本建築学会)
http://www.mext.go.jp/a_menu/shisetu/shuppan/04091401.htm
学校施設の防犯対策に関する手引書として「学校施設整備指針」における防犯対策関係規定についてわかりやすく解説
- 「学校施設の防犯対策事例集」(平成18年2月 文部科学省、国立教育政策研究所)
http://www.mext.go.jp/a_menu/shisetu/shuppan/06030611.htm
学校施設の防犯対策における特色ある取組事例について紹介
- 「学校施設の防犯対策に係る点検・改善マニュアル作成の取組に関する調査研究報告書」(平成18年6月 文部科学省、国立教育政策研究所)
http://www.mext.go.jp/a_menu/shisetu/shuppan/06072513.htm
学校施設における防犯対策に係る点検・改善マニュアルの作成手順、留意点について分かりやすく解説



NIER 国立教育政策研究所文教施設研究センター

- 〒153-8681 東京都目黒区下目黒 6 - 5 - 22
- 電話 03-5721-5693
- ホームページ <http://www.nier.go.jp/shisetsu>